

2024年5月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社ミモナ 上場取引所 東
コード番号 7117 URL http://www.mimona.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 道夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 桑野 光生 TEL 0736 (25) 6639
中間発行情報提出予定日 2024年2月28日 配当支払開始予定日 -
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期中間期の業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期中間期	1,913	△16.4	198	△53.2	207	△51.0	129	△54.0
2023年5月期中間期	2,290	-	424	-	422	-	282	-

(注) 包括利益 2024年5月期中間期 124百万円 (△54.0%) 2023年5月期中間期 282百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期中間期	431.99	-
2023年5月期中間期	940.03	-

(注) 1. 2023年5月期より中間連結財務諸表を作成しているため、2023年5月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期中間期	2,590	1,240	47.9
2023年5月期	2,183	1,110	50.9

(参考) 自己資本 2024年5月期中間期 1,240百万円 2023年5月期 1,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	0.00	0.00	0.00
2024年5月期	0.00		
2024年5月期 (予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,694	△12.6	284	△49.1	281	△51.0	185	△52.4	619.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年5月期中間期	300,000 株	2023年5月期	300,000 株
② 期末自己株式数	2024年5月期中間期	- 株	2023年5月期	- 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年5月期中間期	300,000 株	2023年5月期中間期	300,000 株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後事象等)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、2023年5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に引き下げられ、旅行等の人の移動が全国的に活発になってきており、行楽需要の回復に伴う宿泊・飲食関連の需要が大きく改善され、個人消費の持ち直しの動きが顕著に見られましたが、原材料コスト・物流費・光熱費・人件費等の高騰に伴う物価上昇の影響を受け、先行きが不透明な経営環境が継続しております。また、今年の夏は、記録的な猛暑が続いたことや例年以上に台風の上陸数が多かったことなど、アウトドア業界全体に影響があったものと認識しております。

世界経済においては、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めによる為替変動などの景気影響、中国における景気の減速懸念や、エネルギーコスト・原材料価格の上昇による下振れリスクが懸念されております。

このような情勢の中、新型コロナウイルスの落ち着きによりアウトドア関連商品の市場全体としての調整局面も散見され、当社グループにおきましても店舗来客者数は減少となったものの、主力商品である「アウトドアスパイス ほりにし」は今期も好調を維持しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は1,913,621千円（前年同期比16.4%減）、営業利益は198,920千円（前年同期比53.2%減）、経常利益は207,044千円（前年同期比51.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は129,598千円（前年同期比54.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

アウトドアスポーツ事業

アウトドア関連商品市場全体としての調整局面も散見され、当事業の売上高は1,809,933千円（前年同期比16.6%減）、営業利益は178,529千円（前年同期比54.3%減）となりました。

工業用製品事業

セキュリティインク需要が低迷傾向であり、当事業の売上高は103,688千円（前年同期比19.1%減）、営業利益は20,390千円（前年同期比40.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は2,590,961千円となり、前連結会計年度末に比べ407,132千円増加しました。流動資産は2,197,544千円となり、前連結会計年度末に比べ374,686千円増加しました。これは主に、商品及び製品が241,138千円、受取手形及び売掛金が321,830千円増加し、現金及び預金が190,798千円減少したことによるものであります。固定資産は393,416千円となり前連結会計年度末に比べ32,445千円増加しました。これは主に、有形固定資産が22,160千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,350,384千円となり前連結会計年度末に比べ277,533千円増加しました。流動負債は1,231,365千円となり、前連結会計年度末に比べ310,210千円増加しました。これは主に、短期借入金が351,822千円増加したことによるものであります。固定負債は119,019千円となり前連結会計年度末に比べ32,677千円減少しました。これは主に、長期借入金が32,440千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,240,576千円となり前連結会計年度末に比べ129,598千円増加しました。これは親会社株主に帰属する中間純利益129,598千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は395,350千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は440,446円（前年同期比103.0%増）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益209,115千円、売上債権の増加額320,389千円、棚卸資産の増加額239,767千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は50,940千円（前年同期比25.3%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出30,229千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は289,796千円(前年同期比56.7%増)となりました。これは主に短期借入金の純増加額351,822千円、長期借入金の返済による支出61,422千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国における今後の経済情勢につきましては、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めによる為替変動などの景気影響への下振れリスク、中国における景気の減速懸念や、エネルギーコスト・原材料価格の高騰に伴う物価上昇、人件費の高騰など依然として厳しい環境が続くと予想されますが、国内の行楽需要の回復や世界的に出入国の緩和等も始まり、インバウンド需要はコロナ渦以前よりも上振れ傾向に向かうとも予想されます。

このような状況の下、当社グループは主力商品である「アウトドアスパイスほりにし」の新商品「ほりにし監修ホリネーズ」を2023年10月より販売し、約2ヶ月で累計出荷本数約40,000本と順調にスタートしました。今後も新商品の企画、開発によって更なる売上高の増加に努めてまいります。また、当社グループの実店舗であるOrangeのブランド力をより一層高めてまいります。他の競業店舗との差別化を図り、お客様により一層満足いただける店舗を構築してまいります。さらにデジタル領域におきましても、成長し続けるEC市場への対応を最優先に取り組んでまいります。

以上をふまえ、当連結会計年度の連結業績予想につきましては、売上高3,694百万円(前年同期比12.6%減)、営業利益284百万円(前年同期比49.1%減)、経常利益281百万円(前年同期比51.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益185百万円(前年同期比52.4%減)を予想しております。

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の状況等によって実際の業績は予想された内容から変動する可能性があります。業績予想の変更の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当中間連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	675,172	484,373
受取手形及び売掛金	355,929	677,759
商品及び製品	758,667	999,805
仕掛品	263	106
原材料及び貯蔵品	10,571	10,140
その他	36,663	40,127
貸倒引当金	△14,410	△14,767
流動資産合計	1,822,857	2,197,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,490	95,003
機械装置及び運搬具	24,458	47,574
土地	169,032	173,285
その他	39,847	43,491
減価償却累計額	△99,247	△108,613
有形固定資産合計	228,580	250,740
無形固定資産		
ソフトウェア	7,073	8,133
ソフトウェア仮勘定	-	1,580
無形固定資産合計	7,073	9,713
投資その他の資産		
繰越税金資産	57,677	54,813
その他	67,639	78,149
投資その他の資産合計	125,317	132,962
固定資産合計	360,971	393,416
資産合計	2,183,828	2,590,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当中間連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,424	195,046
短期借入金	418,178	770,000
1年内返済予定の長期借入金	114,894	85,912
未払法人税等	121,659	77,659
賞与引当金	2,299	4,421
その他	111,698	98,326
流動負債合計	921,154	1,231,365
固定負債		
長期借入金	144,580	112,140
退職給付に係る負債	2,687	3,054
その他	4,428	3,824
固定負債合計	151,696	119,019
負債合計	1,072,851	1,350,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	1,100,977	1,230,576
株主資本合計	1,110,977	1,240,576
純資産合計	1,110,977	1,240,576
負債純資産合計	2,183,828	2,590,961

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	2,290,171	1,913,621
売上原価	1,322,603	1,187,696
売上総利益	967,568	725,925
販売費及び一般管理費	542,644	527,005
営業利益	424,923	198,920
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	225	1,088
為替差益	-	8,390
その他	590	908
営業外収益合計	816	10,387
営業外費用		
支払利息	2,525	2,229
為替差損	314	-
その他	140	34
営業外費用合計	2,979	2,263
経常利益	422,759	207,044
特別利益		
固定資産売却益	3,624	2,071
特別利益合計	3,624	2,071
税金等調整前中間純利益	426,384	209,115
法人税、住民税及び事業税	144,998	76,652
法人税等調整額	△624	2,864
法人税等合計	144,374	79,517
中間純利益	282,009	129,598
親会社株主に帰属する中間純利益	282,009	129,598

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
中間純利益	282,009	129,598
中間包括利益	282,009	129,598
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	282,009	129,598

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10,000	710,602	720,602	720,602
当中間期変動額				
親会社株主に帰属 する中間純利益		282,009	282,009	282,009
当中間期変動額合計	-	282,009	282,009	282,009
当中間期末残高	10,000	992,611	1,002,611	1,002,611

当中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10,000	1,100,977	1,110,977	1,110,977
当中間期変動額				
親会社株主に帰属 する中間純利益		129,598	129,598	129,598
当中間期変動額合計	-	129,598	129,598	129,598
当中間期末残高	10,000	1,230,576	1,240,576	1,240,576

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	426,384	209,115
減価償却費	12,061	12,925
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,693	357
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	187	366
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,522	2,121
受取利息及び受取配当金	△225	△1,088
支払利息	2,525	2,229
為替差損益 (△は益)	△33	△8,390
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,624	△2,071
売上債権の増減額 (△は増加)	△387,137	△320,389
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△407,414	△239,767
仕入債務の増減額 (△は減少)	248,671	41,796
その他	16,323	△15,823
小計	△89,066	△318,618
利息及び配当金の受取額	225	1,088
利息の支払額	△2,525	△2,229
法人税等の支払額	△125,571	△120,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	△216,937	△440,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,000	△18,206
定期預金の払戻による収入	-	15,806
有形固定資産の取得による支出	△26,507	△30,229
有形固定資産の売却による収入	7,842	2,709
無形固定資産の取得による支出	-	△4,180
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△16,834
その他	△5	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,670	△50,940
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	265,454	351,822
長期借入金の返済による支出	△80,028	△61,422
その他	△494	△603
財務活動によるキャッシュ・フロー	184,931	289,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	8,390
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△72,642	△193,200
現金及び現金同等物の期首残高	367,455	588,551
現金及び現金同等物の中間期末残高	294,812	395,350

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

従来、当社の商品の棚卸資産の評価方法として、最終仕入原価法を採用しておりましたが、当連結会計年度より移動平均法による原価法に変更しております。

この変更は、基幹システムの改修を契機として、移動平均法にて在庫評価を行う方が、より適切な棚卸資産の評価及び期間損益計算を行うことができると判断したことによるものです。

なお、過去の連結会計年度について、移動平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として計算しております。

また、この変更による影響は軽微であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品・製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う商品・製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する商品・製品及びサービスの種類

「アウトドアスポーツ事業」は、主にEC販売、店舗販売及び卸売を行っております。

「工業用製品事業」は、主に海外からセキュリティインキ原料及び灌漑用商材（スプリンクラー等）を仕入れ、国内企業に卸売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前中間連結会計期間（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結財務 諸表計上額 (注) 2
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	960,221	-	960,221	-	960,221
店舗運営	321,509	-	321,509	-	321,509
卸売	829,041	128,121	957,162	-	957,162
その他	51,277	-	51,277	-	51,277
顧客との契約から生じる 収益	2,162,050	128,121	2,290,171	-	2,290,171
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,162,050	128,121	2,290,171	-	2,290,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,415	-	9,415	△9,415	-
計	2,171,465	128,121	2,299,586	△9,415	2,290,171
セグメント利益	390,710	34,212	424,923	-	424,923
セグメント資産	1,984,459	90,262	2,074,721	435,006	2,509,728
その他の項目					
減価償却費	12,033	27	12,061	-	12,061
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	29,221	-	29,221	-	29,221

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額435,006千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産は主に当社の余剰運用資金（現金及び預金）及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結財務 諸表計上額 (注) 2
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	769,897	-	769,897	-	769,897
店舗運営	236,869	-	236,869	-	236,869
卸売	791,740	103,688	895,428	-	895,428
その他	11,425	-	11,425	-	11,425
顧客との契約から生じる 収益	1,809,933	103,688	1,913,621	-	1,913,621
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,809,933	103,688	1,913,621	-	1,913,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,809,933	103,688	1,913,621	-	1,913,621
セグメント利益	178,529	20,390	198,920	-	198,920
セグメント資産	1,989,291	88,219	2,077,510	513,450	2,590,961
その他の項目					
減価償却費	12,900	24	12,925	-	12,925
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	40,682	790	41,472	-	41,472

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額513,450千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産は主に当社の余剰運用資金（現金及び預金）及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。